

投資型年金保険 メソッドTM

変額個人年金保険Ⅱ型2003
＜20年運用コースB＞

特別勘定の月次運用レポート 2024年3月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険の投資リスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンド(特別勘定)で運用します。ファンド(特別勘定)の主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

- 変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
 - 全部解約・一部解約(特別引出を除く)をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、基本保険金額(一時払保険料相当額)の最低保証はありませんので、受取総額が基本保険金額(一時払保険料相当額)を下回ること(元本割れリスク)があります。
 - 保険関係費用:ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.37%の割合で毎日控除されます。
 - 運用関係費用:ファンド(特別勘定)の運用にかかわる費用です。主にファンド(特別勘定)が投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.352%(税抜1.23%)程度の割合で信託財産から毎日控除されます。お客さまにご負担いただく手数料には信託報酬の他、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかります。これらは、取引量等により金額が変わるため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法、合計額等を記載することが困難であり表示することができません。また、これらの費用は基準価格に反映されるため、間接的にお客さまが負担することになります。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
 - 年金管理費:年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
 - 解約控除:ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の全部解約・一部解約をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額*の7%~1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
*解約控除対象額は、全部解約の場合は基本保険金額(一時払保険料相当額)、一部解約の場合は一部解約請求額と基本保険金額(一時払保険料相当額)のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。
- ※この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費)」」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

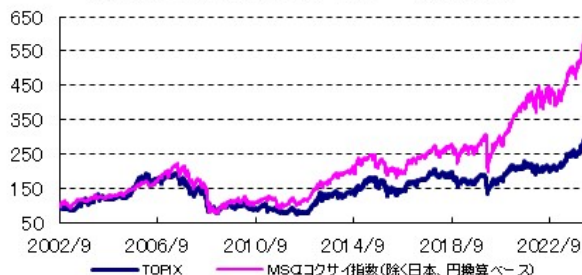
市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	3.07%	20.63%	26.72%	43.96%	38.35%
	TOPIX(東証株価指数)	3.47%	17.00%	19.16%	38.19%	41.69%
日本債券	NOMURA-BPI総合	▲ 0.11%	▲ 0.51%	0.37%	▲ 2.20%	▲ 4.98%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	4.00%	15.34%	22.00%	41.25%	69.73%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	1.20%	5.04%	8.29%	15.80%	17.31%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	0.49%	6.75%	1.22%	13.39%	36.76%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

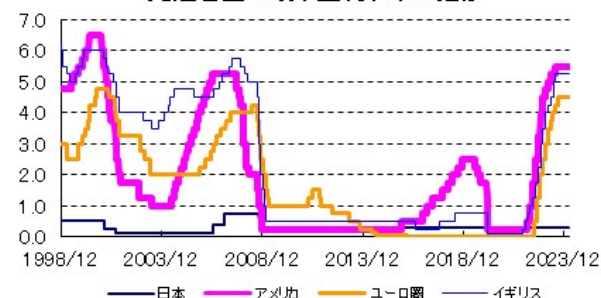


*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
バランス20 TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV20VA *	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.1%	2.9%	179
バランス40 TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV40VA *	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.0%	4.0%	431
バランス80 TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV80VA *	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.0%	4.0%	237
マネー MA			●		三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	224

* 適格機関投資家限定で設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

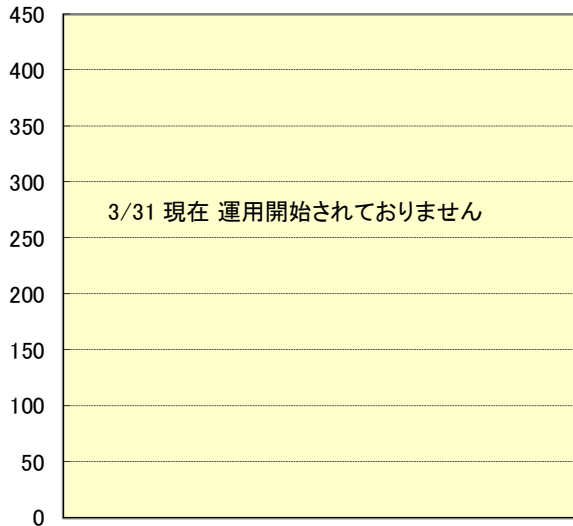
主な投資対象の投資信託	運用方針																														
三菱UFJ MV20VA *	<p>主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得を目指します。</p> <p>(合成ベンチマーク)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>資産区分</th> <th>日本株式</th> <th>外国株式</th> <th>日本債券・ 短期金融資産</th> <th>外国債券 (為替ヘッジあり)</th> <th>外国債券 (為替ヘッジなし)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指数</td> <td>配当込みTOPIX</td> <td>MSCIコクサイ インデックス (除く日本、円換算 ベース配当込み)</td> <td>NOMURA-BPI 総合指数 (短期金融資産(有担 保コール翌日物)1% を含む)</td> <td>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・ 円ベース)</td> <td>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</td> </tr> <tr> <td>三菱UFJ MV20VA</td> <td>15%</td> <td>5%</td> <td>40%</td> <td>35%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>三菱UFJ MV40VA</td> <td>30%</td> <td>10%</td> <td>30%</td> <td>25%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>三菱UFJ MV80VA</td> <td>55%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	資産区分	日本株式	外国株式	日本債券・ 短期金融資産	外国債券 (為替ヘッジあり)	外国債券 (為替ヘッジなし)	指数	配当込みTOPIX	MSCIコクサイ インデックス (除く日本、円換算 ベース配当込み)	NOMURA-BPI 総合指数 (短期金融資産(有担 保コール翌日物)1% を含む)	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・ 円ベース)	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	三菱UFJ MV20VA	15%	5%	40%	35%	5%	三菱UFJ MV40VA	30%	10%	30%	25%	5%	三菱UFJ MV80VA	55%	25%	10%	5%	5%
資産区分		日本株式	外国株式	日本債券・ 短期金融資産	外国債券 (為替ヘッジあり)	外国債券 (為替ヘッジなし)																									
指数		配当込みTOPIX	MSCIコクサイ インデックス (除く日本、円換算 ベース配当込み)	NOMURA-BPI 総合指数 (短期金融資産(有担 保コール翌日物)1% を含む)	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・ 円ベース)	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)																									
三菱UFJ MV20VA		15%	5%	40%	35%	5%																									
三菱UFJ MV40VA	30%	10%	30%	25%	5%																										
三菱UFJ MV80VA	55%	25%	10%	5%	5%																										
三菱UFJ MV40VA *																															
三菱UFJ MV80VA *																															
三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。																														

* 適格機関投資家限定で設定される投資信託です。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

バランス20 TM



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	—	—	—	—	—	—

バランス40 TM



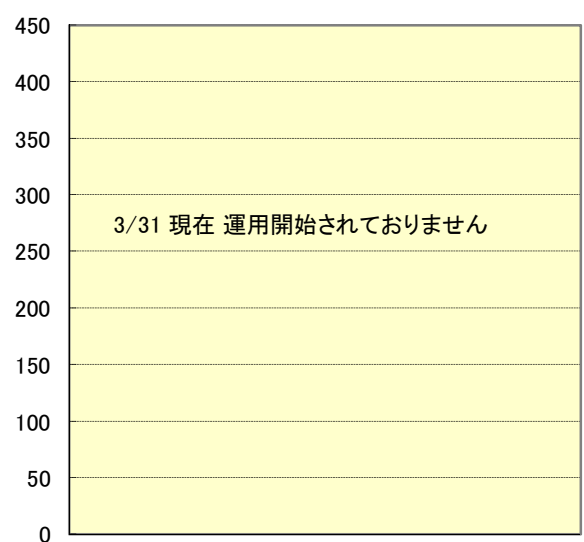
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	9.34%

バランス80 TM



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	2.85%	12.01%	11.02%	22.80%	8.03%	73.77%

マネー MA



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	—	—	—	—	—	—

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

バランス20/40/80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】

三菱UFJ MV20VA / 三菱UFJ MV40VA / 三菱UFJ MV80VA
(適格機関投資家限定)

【運用会社】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式及び公社債(これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券(以下、「投資信託証券」といいます。)。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

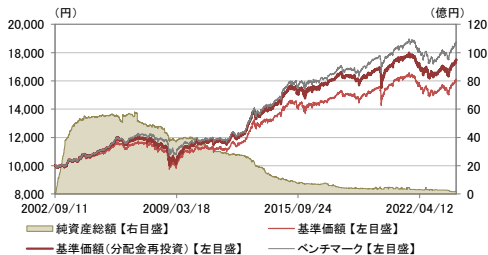
主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

商品概要

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長をめざす追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

三菱UFJ MV20VA(適格機関投資家限定)

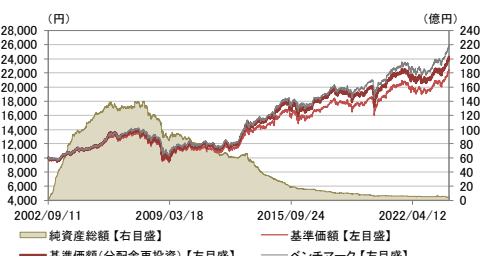
■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
・ベンチマークは、配当込みTOPIX15%、MSCIロクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)5%、NOMURA-BPI総合指数39%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)35%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

三菱UFJ MV40VA(適格機関投資家限定)

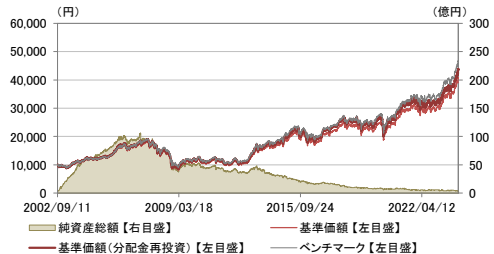
■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
・ベンチマークは、配当込みTOPIX30%、MSCIロクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数29%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)25%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
・ベンチマークは、配当込みTOPIX55%、MSCIロクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)25%、NOMURA-BPI総合指数9%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)5%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.1%	2.3%	5.1%	5.3%	-0.8%	75.0%
ベンチマーク	1.0%	2.5%	5.4%	6.3%	1.5%	87.5%

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	16,115円
前月末比	+178円
純資産総額	2.03億円
前月末比	+0.44億円

■資産構成

	比率
日本株式	14.8%
日本債券	38.2%
外国株式	4.8%
外国債券(為替ヘッジあり)	34.9%
外国債券(為替ヘッジなし)	4.6%
コールローン他	2.7%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.1%	6.3%	8.6%	13.8%	10.7%	142.3%
ベンチマーク	1.8%	6.2%	9.0%	14.7%	14.0%	157.9%

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	22,410円
前月末比	+467円
純資産総額	4.51億円
前月末比	+0.09億円

■資産構成

	比率
日本株式	29.9%
日本債券	28.0%
外国株式	10.0%
外国債券(為替ヘッジあり)	24.8%
外国債券(為替ヘッジなし)	4.9%
コールローン他	2.5%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.0%	14.0%	16.6%	34.5%	38.3%	336.6%
ベンチマーク	3.2%	13.6%	16.4%	33.4%	44.3%	365.1%

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	40,758円
前月末比	+1,582円
純資産総額	3.25億円
前月末比	-1.30億円

■資産構成

	比率
日本株式	54.8%
日本債券	8.8%
外国株式	24.9%
外国債券(為替ヘッジあり)	4.7%
外国債券(為替ヘッジなし)	4.9%
コールローン他	1.9%

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
第18期	2019/12/12	0円
第17期	2018/12/12	0円
設定来累計		1,000円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
第18期	2019/12/12	0円
第17期	2018/12/12	0円
設定来累計		1,000円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
第18期	2019/12/12	0円
第17期	2018/12/12	0円
設定来累計		1,000円

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

バランス20/40/80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】

三菱UFJ MV20VA / 三菱UFJ MV40VA / 三菱UFJ MV80VA
(適格機関投資家限定)

【運用会社】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式及び公社債(これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券(以下、「投資信託証券」といいます。)。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を含む世界各国の株式・公社債および短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

【市場の動き】

3月の海外株式相場は上昇しました。米国では、2月の雇用統計で非農業部門雇用者数が前月比+27.5万人となり、市場予想を上回りました。一方、2月の小売売上高は前月比+0.6%となりましたが、市場予想を下回りました。欧州では、1月のドイツの鉱工業生産指数が前月比+1.0%となり、市場予想を上回りました。また、3月のユーロ圏総合購買担当者景気指数(PMI)速報値は10か月連続で業況判断の分岐点である50を下回りましたが、前月比で3か月連続の上昇となりました。

こうした環境下、米国では、月半ば頃までは強い経済指標等を背景に早期利下げ観測が後退したこと等から上値の重い展開となりましたが、その後、米連邦公開市場委員会(FOMC)で年内の利下げ見通しが維持されたこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州も、欧州中央銀行(ECB)が物価見通しを引き下げ、利下げ開始への期待が高まったことに加え、スイス国立銀行(中央銀行)による予想外の利下げ、景気回復への期待等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

国内株式相場も上昇しました。中旬に一時下落する局面はあったものの、日銀の金融政策決定会合で緩和的な金融環境が当面継続される方針が表明されたことに加え、日本のデフレ脱却への期待や円安が進んだこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

海外債券相場は上昇しました。前月末に4.2%台後半であった米国10年物国債利回りは、FOMCで年内の利下げ見通しが維持されたこと等から低下し、最終的に4.2%台前半で月を終えました。前月末に2.4%台前半であったドイツ10年物国債利回りは、ECBが物価見通しを引き下げ、利下げ開始への期待が高まったこと等から低下し、最終的に2.2%台後半で月を終えました。

一方、国内債券相場は下落しました。前月末に0.7%台前半であった10年物国債利回りは、月前半は日銀による金融政策の正常化観測等から上昇し、その後、日銀の金融政策決定会合で緩和的な金融環境が当面継続される方針が表明されたこと等から上昇幅は縮小しましたが、最終的に0.7%台前半で月を終えました。

為替市場では、日銀の金融政策決定会合で緩和的な金融環境が当面継続される方針が表明されたこと等を背景に円安が進んだことから、米ドル/円相場は1.1%の円安、ユーロ/円相場は0.9%の円安となりました。

【ラッセル・インベストメント グループ】

ラッセル・インベストメント グループは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。

グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理など幅広く業務を行っており、現在当グループの運用資産総額は約42兆円※となっており、

(※ 2023年12月末現在、為替換算レート: 140.98円/ドル。運用資産総額にはオーバーレイ運用を含みます。)

【ラッセル・インベストメント株式会社】

これまでラッセル・インベストメント グループが世界で提供してきた“マルチ・マネージャー・ファンド”を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資家の皆様にご提供致しております。

・三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の

成果を保証・約束するものではありません。

・配当込みTOPIXとは、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。配当込みTOPIXの指数

値及び配当込みTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など配当込みTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及び配当込みTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

・MSCIコクサイ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)は、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 米ドルベース 配当込み)をもとに、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

・NOMURA-BPI総合指数とは、野村フィナンシャル・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)ならびにFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLOにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時

価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注)各合成ベンチマークの計算にあたっては、三菱UFJアセットマネジメント株式会社において、ファンドにおける組入資産・為替の評価時点にあわせて計算を行います。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供されるものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

バランス20/40/80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】

三菱UFJ MV20VA / 三菱UFJ MV40VA / 三菱UFJ MV80VA
(適格機関投資家限定)

【運用会社】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式及び公社債(これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券(以下、「投資信託証券」といいます。)。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

各投資信託証券の運用経過および運用状況

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

1. 運用成果

設定日 2000年12月21日 (2024年3月末)

ファンド・ベンチマーク騰落率	(2024年3月末)		
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	267.9%	42.7%	21.1%
ベンチマーク	241.3%	41.3%	18.7%
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	20.9%	19.9%	6.3%
ベンチマーク	20.5%	18.1%	4.4%

組入銘柄数 403 銘柄

株式保有上位10銘柄 (2024年3月末)

銘柄	業種	組入比率※1
日立製作所	電気機器	3.1%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.5%
セブン&アイ・ホールディングス	小売業	2.4%
本田技研工業	輸送用機器	2.4%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.2%
東京エレクトロン	電気機器	2.2%
オリックス	その他金融業	2.2%
ソニーグループ	電気機器	2.1%
三菱地所	不動産業	2.0%
リクルートホールディングス	サービス業	2.0%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合(投資信託除く)

3. 運用状況

3月の国内株式相場は上昇しました(TOPIX(配当込み)は前月末比4.4%上昇)。こうした中、ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡの基準価額は前月末比6.3%上昇しました。国内株式相場は、中旬に一時下落する局面があったものの、日銀の金融政策決定会合で緩和的な金融環境が当面継続される方針が表明されたことに加え、日本のデフレ脱却への期待や円安が進んだこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。Russell/Nomuraグロース指数は前月比2.4%上昇、同バリュート指数は6.6%上昇し、バリュートがグロースを上回りました。

2. ファンドの内容

上位10業種の配分

業種	組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2024年3月末)		
	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
電気機器	21.0%	17.4%	3.5%
銀行業	8.5%	7.4%	6.2%
輸送用機器	8.4%	9.5%	6.0%
機械	6.7%	5.6%	6.8%
化学	6.2%	5.7%	3.3%
卸売業	5.1%	7.4%	6.1%
小売業	5.0%	4.2%	5.0%
サービス業	4.3%	4.5%	2.8%
情報・通信業	3.9%	7.3%	0.5%
不動産業	3.9%	2.1%	17.4%

ベンチマーク: TOPIX(配当込み)

TOPIXの指数および商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。))の知的財産であり、すべての権利はJPXが所有しています。また、これらの情報は信頼のおける情報源から得たものではありませんが、JPXはその確実性および完結性に責任を負うものではありません。

外部委託運用会社

※2 キャッシュ・エクイティ・エクイティ・エクイティ・エクイティ(流動資産の株式化)部分を除きます。

運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分割合※3
アセットマネジメントOne(投資助言)(注)	グロース型	18.5%
ホリマー・キャピタル・ジャパン(投資助言)(注)	グロース型	7.5%
SOMPOアセットマネジメント(投資助言)(注)	バリュート型	30.0%
ラッセル・インベストメント・インフラストラクチャー・サービスズ	バリュート型	5.0%
スパー・アセット・マネジメント(投資助言)(注)	マーケット・オリエンテッド型	17.0%
M&Gインベストメント(投資助言)(注)	マーケット・オリエンテッド型	17.0%
ラッセル・インベストメント・インフラストラクチャー・サービスズ	ポートフォリオ特性補強型	5.0%

(注)各運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インフラストラクチャー・サービスズが運用の指図を行います。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

1. 運用成果

設定日 2000年12月21日 (2024年3月末)

ファンド・ベンチマーク騰落率	(2024年3月末)		
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	529.6%	41.7%	17.7%
ベンチマーク	630.5%	42.9%	16.7%
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	22.1%	16.2%	4.7%
ベンチマーク	23.4%	16.9%	4.4%

組入銘柄数 582 銘柄

株式保有上位10銘柄 (2024年3月末)

銘柄	通貨	組入比率※1
MICROSOFT CORP	USD	3.8%
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	USD	2.4%
META PLATFORMS INC-CLASS A	USD	2.4%
ALPHABET INC-CL A	USD	1.9%
APPLE INC	USD	1.5%
MASTERCARD INC-A	USD	1.4%
AUTOZONE INC	USD	1.2%
UNITEDHEALTH GROUP INC	USD	1.2%
ALPHABET INC-CL C	USD	1.2%
AMAZON.COM INC	USD	1.1%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合(投資信託除く)

3. 運用状況

3月の海外株式相場は上昇しました(MSCI KOKUSAI(配当込み)は前月末比4.4%上昇)。こうした中、ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡの基準価額は前月末比4.7%上昇しました。海外株式相場は、米国では、米連邦公開市場委員会(FOMC)で年内の利下げ見通しが維持されたこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州も、欧州中央銀行(ECB)が物価見直しを引き下げ、利下げ開始への期待が高まったこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。為替市場では、米ドル/円相場は1.1%の円安、ユーロ/円相場は0.9%の円安となりました。

運用成果はラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)及びラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)に関するもので、上位10業種の配分、地域別配分、株式保有上位10銘柄、外部委託運用会社、運用状況はラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド及び、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンドについての記述です。運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績或いは将来の成果を保証するものではありません。

・三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供されるものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

バランス20/40/80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】

三菱UFJ MV20VA / 三菱UFJ MV40VA / 三菱UFJ MV80VA
(適格機関投資家限定)

【運用会社】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式及び公社債(これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券(以下、「投資信託証券」といいます。)。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

各投資信託証券の運用経過および運用状況

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)

1. 運用成果

設定日 2002年9月12日

(2024年3月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	18.3%	-2.1%	0.4%
ベンチマーク	24.8%	-2.2%	0.7%
過去6か月			
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	0.1%	-0.6%	-0.2%
ベンチマーク	0.4%	-0.5%	-0.1%

ベンチマーク: NOMURA-BPI総合指数
NOMURA-BPI総合指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社(以下「NFRCI」といいます。)が公表する、国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIは、NFRCIが作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他の権利はNFRCIに帰属しています。また、NFRCIは、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

3. 運用状況

3月の国内債券相場は下落しました(NOMURA-BPI総合指数は前月末比0.1%下落)。こうした中、ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢの基準価額は前月末比0.2%下落しました。国内債券相場は、月前半は日銀による金融政策の正常化観測等から下落し、その後、日銀の金融政策決定会合で緩和的な金融環境が当面継続される方針が表明されたこと等から上昇しましたが、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。

2. ファンドの内容

種別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2024年3月末)

種別	ファンド ^{※1}	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
国債	56.0%	84.7%	-0.1%
地方債	19.8%	6.0%	0.0%
政保債	0.0%	1.3%	-0.0%
金融債	0.0%	0.3%	0.1%
事業債	16.4%	6.1%	0.1%
円建外債	3.5%	0.3%	0.2%
MBS/ABS	2.6%	1.3%	-0.0%
その他	1.8%	--	--

※1 組入比率は債券及び投資信託の評価額合計に対する割合

外部委託運用会社

運用会社

ウエスタン・アセット・マネジメント

アセットマネジメントOne

運用スタイル

広範囲型

広範囲型

目標配分割合

50.0%

50.0%

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)

Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)

1. 運用成果

Aコース

設定日 2002年9月12日

(2024年3月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	29.7%	-4.4%	-0.3%
ベンチマーク	29.7%	-3.4%	-0.0%
過去6か月			
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	2.7%	-2.7%	0.4%
ベンチマーク	2.5%	-1.9%	0.3%

Bコース

設定日 2002年9月12日

(2024年3月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	157.8%	13.9%	5.7%
ベンチマーク	154.5%	15.3%	5.3%
過去6か月			
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	7.8%	4.0%	1.1%
ベンチマーク	7.9%	5.5%	1.8%

3. 運用状況

3月の海外債券相場は上昇しました(FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は前月末比1.8%上昇)。こうした中、ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢの基準価額はAコースで前月末比0.4%の上昇、Bコースで1.1%の上昇となりました。海外債券相場は、米国では、米連邦公開市場委員会(FOMC)で年内の利下げ見通しが維持されたこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州も、欧州中央銀行(ECB)が物価見通しを引き下げ、利下げ開始への期待が高まったこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。為替市場では、米ドル/円相場は1.1%の円安、ユーロ/円相場は0.9%の円安となりました。

運用成果はラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)及び、ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)に関するもので、種別配分、地域別配分、外部委託運用会社、運用状況はラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド及び、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンドについての記述です。運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績或いは将来の成果を保証するものではありません。

・三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータコメントを原則としてそのまま掲載しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

バランス20/40/80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】

三菱UFJ MV20VA / 三菱UFJ MV40VA / 三菱UFJ MV80VA
(適格機関投資家限定)

【運用会社】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式及び公社債(これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券(以下、「投資信託証券」といいます。)。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

三菱UFJ MV20/40/80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)
ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。
<ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド>
ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンドは、国内の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。グロース型、バリュエーション型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大限に活かせるようファンドを運用します。
グロース型：アセットマネジメントOne(日本)(投資助言)
アセットマネジメントOneは、今後数年で大きな利益成長を遂げると考えられる企業に投資します。マクロ状況・投資家動向への理解が深く、中・小規模の銘柄選択に加えて、ポートフォリオ構築のエンセツシになっていきます。なお、アセットマネジメントOneの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
グロース型：ポリマー・キャピタル・ジャパン(ケイマン)(投資助言)
ポリマーは、運用担当者自身が行う中・小規模の銘柄サーチにより、市場平均を上回る本質的な成長を生み出すことができる企業の特定に重点を置き、中小型株の高成長の機会を捉え、大型株も含めたビジネス、産業、市場の期待性の見極め・評価を活かしたポートフォリオ運用を行います。なお、ポリマーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
バリュエーション型：SOMPOアセットマネジメント(日本)(投資助言)
SOMPOは、「ノーマル収益力(企業の本質的かつ恒常的な収益力)という概念をベースにした中長期ファンダメンタルズに基づき投資価値を、配当割引モデルをベースにした独自のバリュエーションモデルで算出し、割安度の高い銘柄を中心に投資します。銘柄の売却機を把握し、目標株価に達した銘柄は速やかに売却します。なお、SOMPOの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
バリュエーション型：ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズ(米国)
ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、低PBR(株価純資産倍率)銘柄を中心としたポートフォリオ(ディープ・バリュエーション)を構築することにより、ファンドの低PBR特性を補強します。
マーケット・オリエンテッド型：スパークス・アセット・マネジメント(日本)(投資助言)
スパークスは、高い技術力やブランド力があり、グローバルでの活躍が今後も期待できる企業に投資します。銘柄を厳選するため、保有銘柄は少数に絞られ、非常に集中したポートフォリオとなります。なお、スパークスの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
マーケット・オリエンテッド型：M&Gインベストメント(米国)(投資助言)
M&Gは、ファンダメンタルズ分析に基づく中・小規模の銘柄の選定を行っており、個々の企業にとって最も重要なM&P(重要業績評価指標)の特定、現在の株価と本価値とのギャップの算出が特に重要視されます。また、セクター分析に基づき(種々の高い収益率)に注力することによって投資価値を高めることが可能であるとの投資哲学の下、リスク管理を適切に行いながら、超過収益確度の高い銘柄群にリスクをポートフォリオ構築を志向しています。なお、M&Gの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
ポートフォリオ特性補強型：ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズ(米国)
ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター(バリュエーション、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など)の運用を行います。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)
ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。
<ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド>
ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。グロース型、バリュエーション型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせて、超過収益の源泉や運用プロセスを分散を図り、超過収益の獲得を目指します。なお、各運用会社の特性を最大限に活かせるようファンドを運用します。
グロース型：パインストーン・アセット・マネジメント(カナダ)(投資助言)
パインストーンは、ROIC(投下資本利益率)やROE(自己資本利益率)、EVA(経済的付加価値)を重視し、高クオリティで合理的なバリュエーションを備えた成長性の高い銘柄をポートフォリオ・アプローチで選別します。また、ファンダメンタルズ分析では、企業の持つ競争力や参入障壁、経営陣の質などを重視し、パインストーンの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
グロース型：モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント(米国)(投資助言)
モルガン・スタンレーは、ROIC(投下資本利益率)やフリーキャッシュフローに着目し、長期的な視点から、独自の競争力を持ち、成長性が期待できる銘柄を選別します。ベンチマークは必ずしも追随せず、新興国株を含め、比較的銘柄数を絞ったポートフォリオを構築します。なお、モルガン・スタンレーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
バリュエーション型：サンダース(米国)(投資助言)
サンダースは、グローバルな視点から投資テーマを的確に踏まえて個別銘柄を分析し、当該企業の持つ本質的な企業価値に對して大きく割安であると判断する銘柄を選別します。なお、サンダースの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
バリュエーション型：ブジーナ・インベストメント・マネジメント(米国)(投資助言)
ブジーナは、各セクターに精通した社内アナリストが質の高い中・小規模の銘柄をスクリーニングし、収益力・バリュエーションの低下が一時的な要因か構造的な要因かを見極め、一時的な要因が解消した後、収益力・バリュエーションの回復が期待される銘柄に投資することで高い超過収益の獲得を目指します。なお、ブジーナの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
マーケット・オリエンテッド型：ニューメリック・インベストメント(米国)(投資助言)
ニューメリックは、運用モデルの開発に優れたリサーチ陣や経験豊富なポートフォリオ・マネージャーを擁しており、バリュエーション、業績予想修正、株価モメンタム等の有利なファクターを「リスks良(的)に捉える運用モデルを活用し、超過収益の獲得を目指します。なお、ニューメリックの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
ポートフォリオ特性補強型：ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズ(米国)
ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター(バリュエーション、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など)の運用を行います。

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)
ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。
<ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド>
ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンドは、日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
広範型
ウェスタン・アセット・マネジメント(日本)
ウェスタンは、グローバルに展開する債券特化型の運用会社です。デュレーション(金利感応度)戦略やイールドカーブ(利回り曲線)戦略などの金利戦略において、グローバルな視野の高い調査能力を活かし、マクロ経済から需給関係まで精緻な分析により投資を行います。また、クレジット戦略においては、同社が有するグローバルなクレジット調査体制を生かし、サムライ債等のセクター戦略および個別銘柄選択を強みとしています。
広範型
アセットマネジメントOne(日本)
アセットマネジメントOneは金利、クレジット/セクターの両戦略において、安定した超過収益の獲得を目指します。金利戦略部分は、投資家動向や需給分析に強みがあり、その分析能力を基に極めて短期的なポジションを機動的に数多く取ることで、超過収益の積み上げを図ります。クレジット/セクター戦略部分は、クレジットアナリストが定性、定量両面から精緻な信用力分析を行い、ポートフォリオ・マネージャーが個別銘柄選択を行います。また、投資ユニバースの拡充にも積極的です。

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)
ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。
<ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド>
ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(FISET世界国債インデックス(除く日本、円ベース))を上回ることを目標として運用を行います。当ファンドの大部分は国債や、高い格付けの債券に投資されます。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
ペビエ・ファンドのベンチマークはそれぞれ下記の通りです。
Aコース(為替ヘッジあり)：FISET世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
Bコース(為替ヘッジなし)：FISET世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
Aコースは原則として為替ヘッジ(運用会社：ラッセル・インベストメントインフラメンテーション・サービシーズ)を行い、為替変動リスクの低減を図ります。Bコースは原則として為替ヘッジを行いません。
マクロ・バリュエーション型
コルチエスター・グローバル・インベストメント(米国)
コルチエスターの運用スタイルは、各国の経済情勢や財政の健全性などのマクロ分析を通じて、相対的に高いリターンが見込める、割安度の高い債券および通貨を売却するというものです。割安であるか否かの判断は、実質金利や購買力平価などを予測する同社独自の定量化モデルを用いて行われ、この結果に定性判断を加味することによって国別および通貨別の配分が決定されます。
広範型
インサイト・インベストメント・マネジメント(英国)
インサイトは、特定の戦略に偏ることなく、国別配分、種別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった、あらゆる超過収益源泉をカバーし、市場環境の変化に合わせて柔軟に投資する運用能力を有しています。

- 三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
- 市況の変動等により方針通りの運用が行われなかった場合があります。
- 本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保障・約束するものではありません。
- 各ファンドの運用会社構成は、ラッセル・インベストメントグループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更される事があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況を開示するもので、将来の運用成果を唆るものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等は一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネー MA

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱 MRF(マネー・リザーブ・ファンド)

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、コマーシャル・ペーパーを主要投資対象とします。

運用方針

主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。

■ファンドの特色

信用度が高く、残存期間の短い内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。

■資産構成

	評価金額(円)	比率
公社債	0	0.0%
（うち固定債）	(0)	0.0%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	36,000,000,000	58.3%
（うちコールローン）	(30,000,000,000)	48.6%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(6,000,000,000)	9.7%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	25,763,414,940	41.7%
純資産総額	61,763,414,940	100.0%

・公社債は、国債、地方債、特殊債証券を除く。
・固定債：変動利付債以外の債券。
・CD等は、CD、コールローン(国債等を担保とする有担保コールを除く)、指定金銭信託等。
・その他資産は、指定金銭信託、未収金、未払金等。

■直近7日間の年換算利回りの推移



■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1銘柄

順位	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第1186回国庫短期証券	国債	0.0000%	—	9.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

■債券種別比率

種別	比率
国債	9.7%

・組入上位10銘柄、債券種別比率は一部買現先を含みます。償還日「—」の銘柄は現先取引分です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子を債券時価に含まず算出しております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。